

## 避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討

研究分担者	相馬 幸恵(新潟県村上地域振興局健康福祉部(村上保健所)地域保健課長)
研究協力者	奥田 博子(国立保健医療科学院健康危機管理研究部上席主任研究官)
研究協力者	川田 敦子(静岡県健康福祉部医療保健局健康増進課班長)
研究協力者	佐々木亮平(岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座助教)
研究協力者	鈴木由佳理(気仙沼市保健福祉部地域包括ケア推進課技術補佐)
研究協力者	山崎 初美(神戸市保健福祉局保健福祉局 担当部長)

### 研究要旨：

災害直後から被災者の二次健康被害の最小化に向け、早期から必要なサービス等を提供することが求められる。特に避難所においては、集団による避難生活による健康レベルの低下リスクが高くなるため、保健師等の保健医療福祉活動チームが、避難所運営担当者等との連携のもと、早期かつ迅速に必要な情報を把握しアセスメントを行う必要がある。そのため、必要な情報については的確に早期に把握できるよう避難所日報として様式を統一化するとともに、保健医療福祉活動チームの他、避難所支援に携わる者も活用できるよう記載要領を作成した。なお、豪雨水害等災害の種類や規模により、健康課題の表出する時期やニーズも多様化し、今後も随時バージョンアップしていく予定である。

### A. 研究目的

災害時にはその直後から避難所に住民等が一気に避難してくることが想定される。また、指定避難所以外の避難所に自主避難する者、災害の種類や規模によっては避難所に行けない被災者もいる現状もある。そのような中、被災者の二次健康被害の最小化に向け、早期から必要なサービス等を提供することが求められる。特に避難所においては、様々な健康状態の避難者が混在するため、感染症の発症や慢性疾患の悪化など健康リスクが高くなることが知られており、人的及び物的サービス資源を優先的にどこに分配するかをマネジメントすることが最も重要となる。そのため、保健師等の保健医療福祉活動チームが、避難所運営担当者等との連携のもと災害直後から早期かつ迅速に必要な情報を把握しアセスメントすることができるよう、避難所日報の様式の統一化とその記載要領を作成した。

### B. 研究方法

(1) 平成29年7月5日付け厚生労働省大臣官房厚生科学課長等発出「大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について」に添付されている、また平成28年4月全国保健師長会で改正された「大規模災害時の保健師の活動マニュアル」避難所日報をもとに検討した。  
(2) 検討する上では、①日報を使う者は保健師をはじめとする保健医療活動を担う職員（事務職を含む）であること、②災害直後からフェーズの経過とともに中長期的に使い継続性があること、③迅速に避難所全体像の把握ができるものであること等の観点から行った。

### C. 研究結果

(1) 避難所日報の作成（添付参照）

日報については、避難所全体を把握する避難所状況シートと医療保健福祉ニーズのある避難者を把握する避難者状況シートを検討・改訂した。

避難所全体を把握する避難所状況シートについては、主な項目として、避難者数、避難所運営組織等の「避難施設基本情報」救護所設置状況の「医療」、「ライフライン」、スペースの過密度、更衣室、トイレ衛生状態等の「設備状況と衛生面」、温度、清掃状況等の「生活環境」、主食・おかず提供回数等の「食事提供」に整理した。チェック項目は、「有・無」「適・不適」等の2択とした。

医療保健福祉ニーズのある避難者を把握する避難者状況シートについては、「配慮を要する者」の人数及びその再掲として要継続支援人数、医療保健福祉ニーズのある者の「対応すべきニーズがある者」の有無、「感染症・食中毒等症状がある者」の有無に整理した。その他、具体的な内容が書けるよう特記事項の記載欄、確実に課題等の申し送りができる記載欄を設けた。

## (2) 記載要領の作成 (添付参照)

避難所日報の記載者は、保健医療活動を担う職員（事務職を含む）の他、避難所開設直後は避難所運営担当者も想定され、迅速かつ一定レベルで正確に情報収集できるよう記載要領を作成した。留意点としては、日報の記載に負担をかけないように全ての項目を関係者等に確実に聞き取って記載するのではなく、前日までの様々な情報等を参照することとし、また、特に優先的に収集する情報については太枠項目とした。

## (3) 情報の一元化を想定した OCR 化

両シートともに、OCR化により情報の一元化ができるよう、数字記載欄も設けるなど、認識しやすいような様式とした。

## D. 考察

災害時、都道府県及び市町村において支援計画を作成するにあつては、災害直後から早期かつ迅速に避難所・避難者の情報把握及びアセスメントを行う必要があり、統一した様式を使用することが有効である。

一方で、災害の規模や種類、また記載する者、職種等により、必要な情報をよりの確に把握し活用するためには、記載要領の活用に期待したいところである。

また、直後から情報把握できるよう、避難所運営管理者や住民代表者等の協力も必要であり、関係部署への周知及び協力依頼が必要である。しかしながら、避難所の情報については、保健師等の専門職によるトリアージや個別アセスメントも必要であり、災害直後からの避難所日報の記載及びその活用については、避難所支援者等と検討し役割分担も必要になってくると思われる。

OCR化を想定した様式により、早期の情報の一元化、保健医療活動支援チームの効果的な支援活動にもつながることが期待できる。

## E. 結論

作成した避難所日報及びその記載要領については、「災害時の保健活動推進マニュアル」の一部として全国保健師長会ホームページ (<http://www.nacphn.jp/02/saigai/>) に掲載されている。今後実際の現場で使いながら、必要な項目、優先度、運用の仕方等必要に応じ検討・改訂が必要である。

## F. 研究発表

1. 論文発表 特になし
2. 学会発表 特になし

## G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 特になし
2. 実用新案登録 特になし
3. その他 特になし

1

避難所日報 (避難所状況)

避難所名		避難所コード							
指定避難所以外の場合	所在地								
電話	FAX								

活動日	年	月	日	記載者(所属・職名・職種)					
-----	---	---	---	---------------	--	--	--	--	--

避難施設基本情報	施設定員 (指定避難所)	<input type="text"/>	人	避難者数 (施設内)	夜: 約 <input type="text"/>	人	昼: 約 <input type="text"/>	人
	食事提供人数	約 <input type="text"/>	人	車中泊	<input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有 (約 <input type="text"/> 人)			
	避難所運営組織	<input type="checkbox"/> 有 (組織: <input type="checkbox"/> 自治組織・ <input type="checkbox"/> 自治体・ <input type="checkbox"/> 学校・ <input type="checkbox"/> その他 ( ))・ <input type="checkbox"/> 無						
	外部支援・ボランティア	<input type="checkbox"/> 有 (種類(職種)・人数: )・ <input type="checkbox"/> 無						
医療	救護所設置	<input type="checkbox"/> 有 (所属: )・ <input type="checkbox"/> 無						
	巡回診療	<input type="checkbox"/> 有 (所属: )・ <input type="checkbox"/> 無						

2

現在の状況		特記事項(課題も含む)	
ライフライン	電気	<input type="checkbox"/> 開通・ <input type="checkbox"/> 不通	予定:
	ガス	<input type="checkbox"/> 開通・ <input type="checkbox"/> 不通	予定:
	水道	<input type="checkbox"/> 開通・ <input type="checkbox"/> 不通	予定:
	下水道	<input type="checkbox"/> 開通・ <input type="checkbox"/> 不通	予定:
	飲料水	<input type="checkbox"/> 充足・ <input type="checkbox"/> 不足	予定:
	固定電話	<input type="checkbox"/> 開通・ <input type="checkbox"/> 不通	予定:
	携帯電話	<input type="checkbox"/> 開通・ <input type="checkbox"/> 不通	予定:
設備状況と衛生面	スペース過密度	<input type="checkbox"/> 適度・ <input type="checkbox"/> 過密	
	プライバシーの確保	<input type="checkbox"/> 適・ <input type="checkbox"/> 不適	
	更衣室	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	
	授乳室	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	
	トイレ	<input type="checkbox"/> 充足 ( 基 )・ <input type="checkbox"/> 不足	
	トイレ衛生状態	<input type="checkbox"/> 良・ <input type="checkbox"/> 不良	
	手洗い場	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	手指消毒 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	トイレ照明	<input type="checkbox"/> 適・ <input type="checkbox"/> 不適	風呂・シャワー <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
生活環境	冷暖房	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	洗濯機 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	喫煙	<input type="checkbox"/> 禁煙・ <input type="checkbox"/> 分煙・ <input type="checkbox"/> その他	
	温度	<input type="checkbox"/> 適・ <input type="checkbox"/> 不適	換気・湿度 <input type="checkbox"/> 適・ <input type="checkbox"/> 不適
	土足禁止	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	清掃状況 <input type="checkbox"/> 良・ <input type="checkbox"/> 不良
	ゴミ収積場所	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	
	粉塵	<input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有	生活騒音 <input type="checkbox"/> 適・ <input type="checkbox"/> 不適
	寝具乾燥対策	<input type="checkbox"/> 適・ <input type="checkbox"/> 不適	ペット対策 <input type="checkbox"/> 適・ <input type="checkbox"/> 不適
	食事提供	主食提供回数	<input type="checkbox"/> 3回・ <input type="checkbox"/> 2回・ <input type="checkbox"/> 1回・ <input type="checkbox"/> 無し
おかず提供回数		<input type="checkbox"/> 3回・ <input type="checkbox"/> 2回・ <input type="checkbox"/> 1回・ <input type="checkbox"/> 無し	
特別食提供		<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	
炊き出し		<input type="checkbox"/> 該当・ <input type="checkbox"/> 無	残品処理 <input type="checkbox"/> 適・ <input type="checkbox"/> 不適
調理設備		<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	冷蔵庫 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無

(2020年版)

写真送信の場合は再度記載→

避難所コード									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

避難所日報(避難者状況)

避難所名		避難所コード							
------	--	--------	--	--	--	--	--	--	--

活動日	年	月	日	記載者(所属・職名・職種)	
-----	---	---	---	---------------	--

◆配慮を要する者◆

		人数	うち要継続支援人数			人数	うち要継続支援人数			人数	うち要継続支援人数
高齢者(65歳以上)		人	人	障害者		人	人	服薬者		人	人
	うち75歳以上	人	人		身体障害者	人	人		降圧薬	人	人
要介護認定者	人	人	知的障害者	人	人	糖尿病薬	人		人		
妊婦	人	人	精神障害者	人	人	向精神薬	人		人		
じょく婦	人	人	難病患者	人	人	他の治療薬	人		人		
乳児	人	人	在宅酸素療法・呼吸器療法	人	人	その他	人	人			
幼児・児童		人	人	透析(腹膜透析含む)	人	人	要継続支援合計 人数(実人数)		□□□□ 人		
	うち障害児・医療的ケア児	人	人	アレルギー疾患	人	人					

特記事項	
------	--

◆対応すべきニーズがある者◆ \*まだ解決しておらず、速やかに対応しなければならないニーズがある避難者数を記載する。

	該当	特記事項(←左の欄のその内容、アセスメント等記載)
医療ニーズのある者	□無・□有 □□□□ 人	
うち医薬品がない者	□無・□有 ( ) 人	

	該当	特記事項(←左の欄のその内容、アセスメント等記載)
保健福祉ニーズのある者	□無・□有 □□□□ 人	
高齢者	□無・□有 ( ) 人	
障害者・児	□無・□有 ( ) 人	
その他	□無・□有 ( ) 人	
こころのケアが必要な者	□無・□有 ( ) 人	

◆感染症・食中毒等症状がある者◆

	該当	特記事項(←左の欄のその内容、アセスメント等記載)
総数(実人数)	□無・□有 □□□□ 人	
発熱	□無・□有 ( ) 人	
咳・痰	□無・□有 ( ) 人	
下痢・嘔吐	□無・□有 ( ) 人	

対応内容・結果	
---------	--

課題/申し送り	
---------	--

## 避難所日報 記載要領（2020年版）

### 【避難所日報の目的】

被災自治体または支援の保健師等の保健医療福祉活動チームが、公衆衛生的立場から、①その避難所で必要な支援、②翌日以降のチームの活動方針・内容、③広域的な被災地対応、④今後予測される課題の検討等に活用する。

### 〈避難所活動の目的〉

避難生活によって引き起こされる健康被害を予防し、健康レベルの低下した者を早期に発見して治療や各種サービスに結び付けるとともに、健康レベルの低下をできるだけ防ぐための生活行動をとることができるよう援助する。

### 【記入するにあたっての留意点】

■ 全ての項目を確実に聞き取って記載する必要はないが、自治体の指示を確認の上、前日までの情報等を参照し、太枠内を優先しながら、各項目の情報収集を行う。

■ 避難所の設置・運営主体、規模、被災後早期の混乱期などの要因により、避難所の情報の入手方法は一律ではないこと、避難者及び避難所運営担当者へ過度の負担をかけることを留意し、既存情報を活用するなど以下の例を参考に多様な方法により情報収集を行う。

例. ①前日までの避難所日報の記録内容

②災害対策本部等の情報など入手可能な既存の各種情報

③前任の支援者（チーム）、ミーティングなどの申し送り事項

④避難所運営組織などにおいて把握済みの情報記録

⑤避難所の常駐保健医療支援者（チーム）等からの情報 など

■ 既存の情報の転記に終始せず、避難者の生活の様子、衛生・設備環境なども含め、積極的に観察を行い、気になる方へは声をかけ、新たな課題が生じていないか確認する。

■ 「要継続支援者」、「対応すべきニーズがある者」については、迅速に確認及び必要な支援を行う。

■ 各項目に記載する際には、以下の留意事項を参考にする。なお、特記すべき内容については、右欄特記事項に記載し、欄外には記載しないよう留意する。

■ 記載内容は他地域の関係者とも共有するため、被災者の氏名等はこの日報に記載しないこととする。個別支援を要するなどの理由により、個人情報を詳細に記載・報告する必要がある場合は、「健康相談票」など自治体が指定する個人用記録様式に記載する。特記事項欄には、「その他」の内容、ニーズの種類、関係機関と調整して対応することが必要な事項、避難所の集団として検討すべき事項を中心に記載する。

### 【日報の報告】

■ 内容は避難所管理者や支援者とも共有し、課題や申し送り事項は確実に引継ぎを行う。

■ 報告は、概ね毎日の活動終了後とする。必要に応じ、被災自治体の指示により、決められた時間に、口頭・Web・Fax・手渡しなどの方法で担当者に報告する。

記入する際には、以下を参考にする。

避難所日報（避難所状況）		
項 目		留意事項
避難施設基本情報	避難所コード	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村担当者等からの情報に基づき記載する。</li> <li>避難所日報を写真に撮影して送信する場合には、下の記入欄にも同じ番号を記載する。</li> </ul>
	食事提供人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所以外の居所から避難所での食事提供を受けるのみの者への提供数も含めて記載する。また、朝・昼・夕のいずれかで最も多い数を記載する。</li> </ul>
	車中泊	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所敷地内及び周辺で車中泊を行っている避難者の有無と、「有」の場合は人数の概数を記載する。人数が把握できない場合は、「〇〇台」として車の台数を記載する。</li> </ul>
	外部支援・ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所に入っている支援チーム等の有無と、「有」の場合は、種類（職種等）、人数等を記載する。</li> </ul>
設備状況と衛生面	スペース過密度	<ul style="list-style-type: none"> <li>昼間でも夜間でも、手足を伸ばして寝るスペースがあり、人が歩く通路（新聞紙見開き横の長さくらい）が確保されている場合は、「適度」と判断する。</li> </ul>
	プライバシーの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>居室の間仕切り用パーティションや男女別トイレ、洗濯干し場等、プライバシーが確保されている環境であれば「適」とし、「不適」の場合は優先的な課題を特記事項に記載する。</li> </ul>
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>要配慮者が使用できるトイレがない場合は、その旨特記事項に記載する。</li> </ul>
食事提供	特別食提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所で提供される一般食ではなく、離乳食、アレルギー対応食、腎臓病食、糖尿病食等配慮が必要な食事の提供の有無を記載する。課題があれば特記事項に記載する。</li> </ul>

#### 避難所日報（避難者状況）

##### ◆配慮を要する者◆

##### ○「人数」:

- ニーズの有無に関わらず、避難者カードに記載がある等、避難所運営担当者等が把握している人数を参考に、各項目の状態に当てはまる避難者数を記載する。複数の項目に重複して計上してよい。

##### ○「うち要継続支援人数」:

- 翌日の巡回チーム等が個別に状況確認・支援する必要がある避難者の人数を記載する。
- 複数の該当する項目がある場合は、最も支援ニーズのある項目に入れる。（例えば、降圧薬を服用している高齢者で血压管理の必要な者は、「服薬者（うち降圧薬）」に記載）
- 「◆対応すべきニーズがある者◆」の「有」人数も含む。

項目	留意事項
じょく婦	・分娩終了後母体が正常に回復するまでの期間（おおよそ6週間）における婦人
乳児	・1歳未満の児
医療的ケア児	・たんの吸引や経管栄養など医療的ケアを必要とする児
アレルギー疾患	・喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎等を有する者
服薬者	・内服薬の他、外用薬、注射薬などの医薬品 ・「その他の治療薬」は、H I V、喘息、アレルギー性疾患等の治療薬
その他	・上記項目に含まれない者
要継続支援合計人数 (実人数)	・該当者がいない場合は「0」、確認できなかった場合は「-」と記載する。避難所状況の施設定員、避難者数、食事提供人数も同様である。
特記事項	・「その他」の具体的内容を記載する。

◆対応すべきニーズのある者◆

- ・まだ解決しておらず、速やかに対応しなければならないニーズのある避難者数を記載する。
- ・引き継いだ際には、優先的に確認、対応することとする。

項目	留意事項
医療ニーズのある者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅酸素療法・呼吸器療法、透析（腹膜透析含む）、小児疾患、精神疾患、周産期、歯科疾患、アレルギー疾患、外傷等、医療機関でのフォローができていなく速やかに医療につなぐ必要がある者</li> <li>・ニーズの種類等を特記事項に記載</li> <li>・適切な医療を受けている、又は受けられる状況にある者、状態が安定している者は含まない</li> </ul>
保健福祉ニーズのある者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健福祉等のニーズがあり、福祉避難所への移動、専門職支援チーム等に速やかにつなぐ必要がある者</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下記の例示やその他の何らかの支援が必要な者</li> <li>・小部屋等の避難スペースの確保が必要な者 <ul style="list-style-type: none"> <li>*アトピー性皮膚炎、呼吸器疾患がある人等、持病等疾患を悪化させないために必要な者等（認知症や、発達障害は、高齢者、障害者・児に計上して特記事項に記載）</li> </ul> </li> <li>・特別な食事が必要な者 <ul style="list-style-type: none"> <li>*食物アレルギー食、低たんぱく食、経腸栄養剤が必要な者、咀嚼嚥下困難な者等</li> </ul> </li> <li>・退所にあたって福祉的支援が必要な者 <ul style="list-style-type: none"> <li>*生活困窮者やDV等で自宅に戻れない者等</li> </ul> </li> <li>・具体的内容は特記事項に記載する。</li> </ul>
こころのケアが必要な者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悲哀、悲嘆が強く、不眠、引きこもりや過剰行動が見られるなど、専門的な支援が必要と思われる者</li> </ul>

◆感染症・食中毒等症状がある者◆

- ・避難所等の集団生活で発生しうる主な感染症（インフルエンザ、感染性胃腸炎、急性呼吸器感染症、結核等）症状を有する者の人数を記載する。発疹やその他の特異的な症状がみられる場合には特記事項に記載する。

◆対応内容◆

- ・避難所における必要な支援や対策を検討するため、1枚目及び2枚目について総合的評価として記載する。

項目	留意事項
対応内容・結果	・アセスメントに基づき対応した事項について、具体的事項を記載する。
課題/申し送り	・対応できなかった課題や原因等について記載し、次の支援へつなぐ。 ・現在ニーズはないものの、今後近いうちに出現すると予測されるニーズも記載する。